

春の全国安全運動期間中 交通事故死者15人増の110人 最も多かったのは北海道の7人

2016/04/18 17:07

春の全国交通安全運動期間(6~15日)に、交通事故で死亡したのは110人で、昨年と同期間中より15人増えたことが18日、警察庁のまとめ(速報値)で分かった。15歳以下の死者は2人減って1人だった一方、**65歳以上の死者は16人増えて62人**だった。都道府県別の死者で**最も多かったのは北海道の7人**。埼玉、千葉、長野、福岡が6人だった。宮城など9府県はゼロだった。

「なれた道・なれた仕事」に注意!

交差点 信号が、「青」に変わった! チョット待て! もう一度、安全確認しよう

バック時は、一度の確認だけでなく、もう一度確認しましょう

車間距離を十分にとろう! 追突を未然に防止しよう

2時間ごとに、15分休憩で 守ろう! 自分の命

- 一時停止 ⇒ 二度停止
- 前車発進 ⇒ 2秒後に発進

子供は、動く赤信号

気の緩み スピード出し過ぎていませんか?

大型車の左折巻き込み事故再現

小学校で交通教室

交差点の近くに立つ危険性を学んだ

2016/4/19 05:30

兵庫県警他などは18日、2つの小学校で大型トラック左折時の巻き込み事故を再現する交通安全教室を開いた。児童らは前後輪の内輪差や、交差点の近くに立つ危険性を学んだ。県トラック協会東播支部の協力を得て実施した。校庭に交差点を再現。通行人に見立てた段ボール箱を10トントラックが倒すと、児童たちからは「わー」と悲鳴が上がった。急ブレーキをかけた車が約11メートル進む実演もあった。同署員は「飛び出したらはねられてしまう。左右を確認し、横断歩道を渡るように」と説明。6年の男子児童(11)は「段ボールが人間だと想像するとぞっとした。交差点では離れて立つ方がいいと思った」と話していた

トラック 対向車線にはみ出し 正面衝突で2人死亡

◇デイ・ライト 知らせよう自分の車、事故を未然に防ぎましょう◇

2016.4.16 10:40更新

16日午前1時ごろ、岡山県の国道で、運転手の男性(53)のトラックと、対向車線の会社員の男性(41)の乗用車が正面衝突した。二人とも病院に搬送されたが死亡した。警察によると、現場は片側1車線の見通しの良い直線。事故の状況や目撃者の証言から、トラックが対向車線にはみ出したとみて調べている。2台ともブレーキ痕はなく、前部が大破した。

渋滞で停車中の車に追突 5台玉突き

◇車間距離を十分にとり、追突・玉突き事故を防ぎましょう◇

2016年04月16日 09:35

15日午前7時ごろ、千葉県の京葉道路、渋滞で停まっていたライトバン型乗用車に、建設会社員男性(22)が運転するワゴン車が追突した。ライトバンは反動で前のトラックに衝突するなど、計5台の玉突き事故となり、ライトバンの会社員男性(22)ら計7人が首や腰の痛みを訴えて病院に搬送された。

酒気帯び運転で、信号待ちの軽乗用車に追突

容疑の男逮捕 男性2人けが

2016年4月18日(月)22時36分

16日午後10時ごろ、埼玉県の市道で酒気を帯びた状態で軽ワゴン車を運転していた自営業の男性(45)を自動車運転処罰法違反(過失運転傷害)と道交法違反(酒気帯び運転)の疑いで、現行犯逮捕した。信号待ちをしていた軽乗用車に追突し、運転していた男性(18)と助手席の男性(18)の首や胸などに1週間のけがを負わせた疑い。警察によると、男の呼気からは1リットル当たり0.75ミリグラムのアルコールが検出された。男は「買い物に行く途中だった」と供述しているという。

酒気帯び運転、民家の塀と乗用車に衝突 逮捕

2016年4月18日

警察は16日、酒気帯び運転の疑いで、会社員の男性(29)を現行犯逮捕した。逮捕容疑は同日深夜、土地具の市道で、酒気を帯びて乗用車を運転した疑い。民家の塀や、塀の奥に止めてあった乗用車に衝突する事故を起こした。